

大関のこども

10月後半号

R2校長室だより 第11号
令和2年 10月27日

HPアドレス
<http://www.ozeki.ed.jp>

小学校最高の思い出作り 第2弾！ 福井県内修学旅行に行ってきました！！

校長 濱辺 弘一

新型コロナウイルス感染症の影響で、学校行事の見直しが迫られ、これまで当たり前のように行ってきた行事も、その意義やねらいを再考するチャンスになっています。先月の運動会は、月曜開催になりました。たくさんの保護者やご家族の方が応援に駆けつけてくださいました。家族と一緒に食べるお弁当ではなく、教室で給食を食べましたが、違和感はあまり感じませんでした。振替もないので、平日に子どもだけで家庭にいることもなくなりました。保護者の皆様は、どのように感じられたでしょうか。

さて、小学校最高の思い出 第2弾として、6年生は、福井県内1泊2日の修学旅行にいきました。これまでは、社会科の学習をかねて、京都・奈良の歴史的建造物めぐりということで、写真ではなく、「本物」を見る・体験することによって多くのことを学んできました。しかし、今回は福井県内です。子どもたちは何をすることができたでしょうか。今回の経験は、これから子どもたちの成長にどのような役目を果たしてくれるのでしょうか。今後検証していきたいと思っています。しかし、今回の修学旅行が、子どもたちにとって、かけがえのない最高の思い出になったことは間違いありません。子どもたちの笑顔がいたるところで見られた修学旅行＝修楽旅行でした。

**コロナに負けない！
8つの約束**

- ま** スクで守ろう、自分と相手
- け** んおんで、毎朝体温チェック
- る** ーを守って、コロナ予防
- な** やみがあれば、すぐ相談
- お** おきな声は、ひかえよう
- お** たがいの距離は、ソーシャルディスタンス
- ぜ** んいんで、しっかり手あらい30秒
- き** れいな空気、換気しよう

行き先は福井県内に変わっても、やっぱり、修学旅行は最高の思い出になりました！！

6年生は、10月23日(金)・24日(土)に、福井県内1泊2日の「修学旅行＝修楽旅行」に出かけました。



塗り箸体験

海浜自然センター

レイクルーズ

年稿博物館

旅館での夕食



エネルギー環境教育体育館(さいばす)

ツリビ・クックア・ベンチャーいけだ

ショッピ・ソグ

PTA資源回収「ありがとうございました」

10月18日(日) PTA資源回収が行われました。春の資源回収は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になったので、例年より多くの量が集まりました。回収に当たってくださった育成委員会の皆様、積み込み作業を担当していただいた学級委員・施設保体委員・役員の皆様、ご協力ありがとうございました。



5年生の出前授業！ 「ゴミ問題」について考えました！

10月13日(火)アースサポーターの講師の方々が「地球温暖化とごみは関係があるの？」という内容で5年生に出前授業を行いました。最後に、私たちが住んでいる大関地区のごみの状況はどうなっているのかを調べる『クリーンアップ大作戦』について、大関コミセンの伊藤センター長から説明がありました。11月3日(火)にはみんなで参加して、大関地区の「ごみのポイ捨て」の状況をしっかり調べる予定です。



1年生の校外学習「秋探し」に行ってきました！！

10月22日(木)1年生はトリムパークかなづで、落ち葉拾いをして秋の自然を楽しみました。遊具で遊んだりお弁当を食べたりしました。



3年生・4年生が校外学習に！理科・社会科の学習の補充、深化を図りました。！！

10月23日(金)3年生は嶺北消防署と和紙の里、4年生はエンゼルランドと和紙の里へ校外学習に出かけました。嶺北消防署では、社会科で学習する消防士の仕事について見学やインタビューをしました。また、エンゼルランドでは、プラネタリウムを鑑賞して月や星の動きを確認したり、今日の夜の星空の解説を聞いたりしました。和紙の里では、実際に紙すき体験を行い、伝統文化の素晴らしさに触れることができました。



<嶺北消防署>



<和紙の里>

大関きらら独り言

『あなたの言葉で子どもは伸びる！～親の「口ぐせ」は子どもの「思い込み」を作る～』（PHPのびのび子育て11月号）の shizuさん(自閉症療育アドバイザー)からの文章に目が留まりました。

- ♡ 子どもの心や能力を伸ばし、あなた自身も笑顔になるためには、言葉がけが一番大切なことかもしれない。子どもにかけている言葉は、自分の心に無意識にかけている言葉となるからです。
- ♡ 生まれたての赤ちゃんには、もちろん「思い込み」というものがまったくありません。育っていく過程でかけられる言葉によって、「自分に対する思い込み」を作っていきます。
- ♡ 生涯にわたって「マイナスの思考ぐせ」を定着させてしまうほど、親の言葉の影響は大きいのです。
- ♡ 言葉には言霊があるといわれています。もし、一番身近である親からかけられた言葉が、子どもにとって心地良いものとしたら、この世界は安心できる世界で、自分の存在が尊重されていると感じ、自己肯定感も高まることでしょう。
- ♡ 生まれもったものは、人それぞれ。その子に合わせて言葉がけをしていく必要があります。「できてあたりまえ」という考えは捨てましょう。できないときは、「どうしたらわかるかな？」と、子どもの立場になって考えてみるのが大切です。
- ♡ 親が発する言葉が変化していけば、子どもには挑戦する心が芽生え、自らの力を伸ばしていきます。焦らず、少しずつ、できることから取り組んでいきましょう。

